

お取引先各位様

2011年 6月 14日
日比野工業株式会社
代表取締役 伊藤 和弘

日比野工業株式会社(本社: 愛知県知立市、社長: 伊藤和弘)はこのたび中国江蘇省にアルミダイキャスト品の製造・販売会社を下記のように設立致しました。

1. 新会社の概要(予定)

社名	日比野鑄件(常熟)有限公司 (英文) Hibino Casting (ChangShu) Co., Ltd.
設立	2011年 6月
資本金	15,000,000米ドル(総投資額: 45,000,000米ドル)
代表者	伊藤 和弘
売上計画	9億円/年間(開始初年度)
アルミ使用量	250トン/月(開始初年度)
出資比率	日比野工業100%
所在地	中華人民共和国 江蘇省常熟市
敷地面積	54,000㎡
建築面積	事務所 2,000㎡、工場 14,000㎡(第一期工事)
従業員数	550名(2013年 12月時点での想定)
事業内容	アルミダイキャスト部品の製造・販売
稼働	2013年 1月 生産開始予定
主要設備概略	ダイキャストマシン - 350トン 10台、800トン 3台等 機械加工機 - MC等 60台

2. 会社設立の背景

日比野工業(親会社)は、上海市青浦区に既に、ダイキャスト部門の上海日比野圧鑄有限公司及び機械加工部門の上海日比野金属制品有限公司の2社にて、10年前より生産開始しております。近年、日系自動車メーカー様は、中国現地での部材調達など、現地生産化を進めています。中国自動車市場は昨年1,800万台超の販売の世界一となり、今後もその成長が期待されております。

このような状況のもと、現状での上記2拠点では今後、社内生産能力が不足する事から中国国内の常熟市にて新たな工場稼働を決定致しました。

この常熟市の新工場と現有の青浦地区の工場は120km程離れております。

現行の青浦地区の工場との棲み分けは、青浦工場にて非自動車部品を生産継続して新たな常熟市にて、自動車部品の生産開始をする予定です。

3. 今後の予定

今回の常熟市での新会社にて中国市場での自動車部品のアルミダイキャスト部品の、生産拡大の拠点とし、現行の青浦工場と共に、中国に於ける電動工具等の非自動車産業及び自動車販売の拡大に伴う、アルミダイキャスト部品の需要拡大への供給体制を同敷地内での第二期増設も想定して、今後整備して参ります。

4. 現工場(青浦地区)の概要

敷地面積	23,000㎡
建築面積	11,000㎡
売上	19億円/年(2010年 12月期実績)
アルミ使用量	500トン/月
従業員数	720名
主要設備	ダイキャストマシン - 135トン 5台、350トン 13台、 630トン 1台、800トン 7台、総合計 26台 機械加工機 - MC等 50台

* 上記数字は現有工場(青浦地区)の2拠点の合計数字となっております。

そして上記設備の一部は常熟の新工場へ移設予定です。

以上